

令和7年度「60（ロクマル）プラス」優良実践校 実践報告書

1	実践校名	大槌町立吉里吉里中学校
2	実践名	吉里っ子元気プロジェクト
3	実施対象者	教職員、児童生徒、保護者
4	目標	すすんで運動に取り組む子・健康的な生活ができる子の育成
5	実践内容	ア (①・②) ① 学校経営の特徴 【資料①】 まなびフェストに目指す子どもの姿として4つ示している。その中の一つに「健康な心と身体」をかかげ、教職員全体で共通理解を図った。 ② 校内連携 校内における各担当者（生徒会担当、体育担当、養護教諭、栄養教諭）間で実施内容や実施時期等について情報共有し、組織的に取り組みを実施している。 ② 小中連携 「健康な心と身体」の育成に向け、小学部と中学部が連携し「基本的な生活習慣の確立」「体力の向上」に向けた取り組みを実施している。
		イ (③・④) ③④インボディ測定会【資料②】 期末面談時期に合わせて、高性能な体組成計（InBody）を用いた測定会を実施した。事前にチラシを保護者あてに配布し、生徒はもちろんの事、保護者も希望者は測定可能であることを周知した。小学部と同時開催することで、吉里吉里学園全体での意識向上を図った。 ③④新体力テストの結果分析と体力向上の取り組み 新体力テストの結果分析に基づいたメニューで、体育の授業導入としてサーキットトレーニングを実施した。また、部活動における体力トレーニングとして合同トレーニングを実施するなど体力向上に努めた。 ③④生徒会の取組 【資料③】 生徒会を中心に「My Routine Style」と題し、メディア時間と規則正しい生活について個人目標を設定し、チェックする取り組みを実施した。 ③④食に関する指導 発達段階に応じて全学年で栄養教諭による栄養指導を行った。
		ウ (⑤) ⑤小中合同の取り組み 【資料④】 今年度の小中合同生活テーマに「規則正しい生活」を掲げている。小学部と中学部が同じテーマに沿って発達段階に合わせてそれぞれ取り組みを行うことで、学園全体の意識向上を図り、自身の生活を振り返り改善する機会とした。
6	成果	・インボディの測定では、肥満度を計算するだけでは分からなかった骨格筋量や体脂肪量などの具体的な数値を細やかに把握することで、個に合わせた保健指導を実施することができた。実施時期を工夫することで、長期休業中の「より良い生活習慣」や「健康な体づくり」への意識付けにもつながった。また、保護者への健康に関する啓発活動も同時に行うことができ、親子で「健康」について考えるきっかけとなったことも効果的だった。 ・調査結果を分析し、授業改善に活かすことで、今年度の新体力テストでは、昨年度と比較して2・3年生17名中15名の体力テストの点数が向上した。 ・生徒会が中心となり、チェック項目を設定することで、生徒主体の取り組みへとつながった。 ・成長期に必要な栄養素等について学び、食に関する知識を身に付けさせることができた。 ・小中一貫教育校のよさを生かし、連携をとりながら取り組みを行うことで、系統的に健康教育を展開することができた。
7	課題	・インボディ測定会は、今後も期末面談の時期に合わせて実施する事とし、測定結果の推移等を個別の保健指導に生かしていく。また、保護者への啓発活動については、引き続き働きかけていく。 ・課題となる領域の運動についての授業改善を行い、重点的に取り組んでいく。
8	今後の予定	・自分の生活を見直す「My Routine Style」の繰り返しの取り組みで改善を目指す。 ・規則正しい生活習慣や食育、保健指導を小中一貫教育の強みを生かしながら計画的に継続していく。

令和7年度 大槌町立吉里吉里学園グランドデザイン「まなびフェスト」

教育目標 小学部「自立する子ども」、中学部「自立から自律へ」

目指す
子どもの姿

確かな学力

基礎・基本的な知識・技能を
習得し、主体的に
学習に取り組む子

豊かな人間性

一人ひとりのよさを認め合い
集団の中で力を発揮できる子
感謝と思いやりをもつ子

健康な心と身体

すすんで運動に取り組む子
健康な生活ができる子
(早寝・早起き・朝ご飯)

未来に生きる郷土愛

吉里吉里のよさを知り
地域に貢献できる子

目指す教師像

信頼される学園づくり

●「チーム吉里吉里」コミュニティ、スクールの推進を図る。

- 学園「まなびフェスト」の保護者・地域への理解を図る。
- 保護者・地域が参画する教育活動を計画的に実践する。(社会に開かれた教育課程の推進)
- 学園自己評価活動により、教育活動の改善を図る。
- 学校運営協議会を計画的に開催し地域と連携した教育課程の推進を図る。

●教職員の資質・組織力の向上を図る。

- OJT(On-The-Job Training)を推進し、組織力の向上を図る。
- 教育課題の解決のため教職員が、相互に学び合う環境や研修の場を築く。
- 豊かな人間性を持ち、社会人としての常識や幅広い教養を高める。
- 様々な背景・価値観を持つ人々と対話を通して情報共有し、相互に考えを伝え深め合いながら、合意形成を図り、課題を解決する。
- 心身共に健康で様々な状況でも感情をコントロールしながら、忍耐力とチャレンジ精神を持って多様な課題に取り組んでいる。

確かな学力

教育への使命感を持ち、学び続ける教師

●「わかる授業」の実践に取り組めます。

- 小中一貫による9年間を貫いた授業スタイルで、主体的・協働的な学びに取り組めます。
- 授業の流れ「課題設定・見直し」→「学び合い」→「まとめ・振り返り」
- 学校評価アンケート「授業がわかる」についてプラス回答の児童・生徒の割合100%を目指します。
- 全国学力状況調査・岩手県学習定着度状況調査で県平均以上を目指します。

●「家庭学習」の内容の充実と習慣化に取り組めます。

- 帰りの短学活で、家庭学習計画を立てさせます。(授業と運動させた家庭学習の内容を取り入れます。)
- 進んで宿題(1~4年生)と自主学習(5~9年生)に取り組む児童・生徒を育てます。

●「学習規律」の定着に取り組めます。

- 「学習のきまり」を守り、授業に主体的に取り組む児童・生徒を育てます。

●各種検定の取得率の拡大を目指し、児童・生徒の意欲を高めます。

- 「英語検定」において、受験者の3級取得40%を目指します。(中学部)
- 「漢字検定」において、受験者の4級取得50%を目指します。(中学部)
- 「チャレンジテスト(漢字計算)」において1~4年生の合格率90%、5・6年生の合格率80%をめざします(小学部)

豊かな人間性

子どもの良さを引き伸ばし、信頼される教師

●自己肯定感を高める取組をします。

- 学校評価アンケートの「自己肯定感」について、プラス回答の児童・生徒95%以上を目指します。
- 児童・生徒一人一人が長所や良さを伸ばし、皆から認められる集団づくりをします。
- 児童・生徒間および教師が、一人一人の良さを認める取組を行います。

●集団生活の向上を図る主体的な自治活動に取り組ませます。

- 学校評価アンケートの「自治活動」について、プラス回答の児童・生徒100%を目指します。
- 学校行事や学級活動を通して、目標に向かって主体的に活動する集団づくりをします(課題に気づき、解決策を考え、行動できる集団)。
- 小中それぞれの発達段階に応じながら、自治的な児童会・生徒会活動を展開します。

●感謝と思いやりの心を育む取組をします。

- 学校評価アンケートの「感謝と思いやり」について、プラス回答の児童・生徒100%を目指します。
- 相手のことを考え、行動することの大切さに気づき、集団生活の中で実践できる児童・生徒を育てます。

●ふるさと科におけるキャリア教育を推進し、将来の夢を育む取組をします。

- 将来の生き方を考えるキャリア教育の充実を図ります。
- <3~6年生> 工場見学・事業所訪問、地域産業体験 <7年生> 地域産業体験学習
- <8・9年生> 職場体験学習・上級学校訪問
- 学校評価アンケート等で、以下の内容についてプラス回答95%以上を目指します。
- 中学部…「将来の夢や就きたい仕事について考えることができる」
- 小学部…「夢や目標に向かって頑張る(努力する)ことができる」

健康な心と身体

健康で明るく、活力に満ちた教師

●基本的な生活習慣の確立を目指した取組をします。

- 学校評価アンケートの「基本的な生活習慣」について、プラス回答の児童・生徒90%以上を目指します。
- 家庭と連携し、夜ふかしをせず、「早寝・早起き・朝ご飯」の生活習慣が身についた児童・生徒を育てます。
- 「疾病の予防・早期治療」がなされるよう、学校・家庭で共通理解を図りながら進めます。
- 学校評価アンケートの「家庭で決めたメディア使用時間を守る」について、プラス回答の児童生徒80%以上を目指します。

●体力の向上を図る取組をします。

- 第1回新体力テストの結果を分析し、課題点を明らかにします。
- 体育の授業や業間運動、クラブ活動・部活動などを通じて計画的に課題へのアプローチを行い、その成果を検証します。
- 【中学部】第2回体力テスト実施
- 総合評価(5段階評価A~E)ワンランクアップまたは、合計得点のアップの生徒80%以上を目指します。
- 【小学部】体育の授業・業間運動などで抽出項目の平均得点の向上を目指し検証します。

●教育相談活動・カウンセリングの充実に取り組めます。

- 学校評価アンケートの「教育相談」について、プラス回答の児童・生徒90%以上を目指します。
- 全職員が心のサポートの視点を持ち、日常の児童・生徒観察、児童・生徒理解に努めます。
- 諸調査による児童・生徒の状況の把握に努め、SC等と連携し、組織的・計画的な教育相談活動を進めます。

未来に生きる郷土愛

地域との協働に努め、ともに教育を創造する教師

●「ふるさと科」で地域と連携した取組をします。

- 郷土芸能伝承活動、地域産業体験活動、自然体験活動を通して、地域の良さに目を向け大切にしていこうとする児童・生徒を育てます。
- 防災教育を通して、災害時や防災に対して主体的な判断力と実践力を持った児童・生徒を育てます。

親子で吉里っ子元気プロジェクト

InBody 測定会 in 中学部

裸足で乗って45秒で完了！
保護者のデータを養護教諭が
見ることはありません！
検査表もそのまま
お渡しします。

InBody は高い精度をほこる体組成計。体内の水分量や肥満度、
姿勢バランス、左右の腕にどれくらい筋肉がついているか、などなど。
その人の体のことがすべて数値となって出てくる、夢の測定機器です！

期 間 7月18日(金)・22日(火)

22日は中学部期末面談です
保護者の方も一緒にどうぞ
23日は小学部で開催！

場 所 2階 多目的ホール

費 用 無料(ジムなどでは使用料が500円前後かかるそうです。)

対 象 全校生徒・保護者(家族全員でも OK) ※生徒は全員測定

※説明から準備まで1人3分前後となります。時間帯や測定状況により、希望時間に測定ができない場合もございますので、ご了承ください。

※心臓ペースメーカーを装着されている方は測定できません。



ル ー テ ィ ン ス タ イ ル
My Routine Style 個人シート

生徒会執行部

目的 「時間」や「規則正しい生活」を心がけ、生活リズムを自分で整える力をつける。

内容 ① 個人のメディア使用時間、起床時間、就寝時間の目標を設定する。

○使ってよい 学習アプリ、新聞、ニュース など学習に関わるもの。
×使っちゃダメ スマホ〔YouTube、LINE など〕、ゲーム、マンガ、テレビ など。
※目標時間は、普段の自分のメディア利用時間の半分の最低目標にして決めてください。例えば、
いつも4時間 YouTube を観たりゲームなどをしたりしている人は、2時間以内とします。
② 毎朝、達成状況を確認し、○×で記入。
③ すべて終わったら振り返りを書いて、25日（水）昼までに学級委員長が回収して、執行部へ。

メディア時間		規則正しい生活			
目標		目標			
		平日		土日	
平日	土日	起床	就寝	起床	就寝
時間まで	時間まで	:	:	:	:
達成状況（○か×を記入）					
20日（金）	21日（土）	22日（日）	23日（月）	24日（火）	
起床	起床	起床	起床	起床	
朝食	朝食	朝食	朝食	朝食	
就寝	就寝	就寝	就寝	就寝	
メディア	メディア	メディア	メディア	メディア	
振り返り（My Routine Style の取り組みについて自分が工夫したことを教えてください）					

年 番 名前

ル ー テ ィ ン ス タ イ ル
My Routine Style 反省シート

生徒会執行部

達成率（％）				
項目	7年生	8年生	9年生	全体
メディア時間	82 %	71 %	88 %	86 %
起床時間	84 %	74 %	77 %	80 %
朝食	94 %	100 %	100 %	95 %
就寝時間	88 %	63 %	70 %	77 %
みんなの振り返りから 7年生…メディア時間を学習時間にあてることができたので次は家の手伝いにあてたい 8年生…いつもメディアを使っている時間を勉強に使った。早く寝て体調を整えた 9年生…勉強するときはスマホを預かってもらった 執行部から この取り組みは初めてだったけど、守るためにいろんな工夫をしていていいと思った。次のテストの時は達成率を上げれるようにしよう。				

第1号議案

1. 小中合同行事スローガン

とうきゅう 『全力登九』

2. スローガン設定理由

昨年度は、スローガン「Let's go!」のもと、児童会・生徒会が協力し、小中合同の運動会と文化祭を成功することができました。その後、私たちはこれからの学園について、児童会・生徒会執行部でそれぞれ「どんな学園(児童・生徒)にしていきたいか」を考え、次の目指す学園像を共有しました。

小学部

「笑顔あふれる学園」

- ・ 日常での生活をしっかりする
- ・ 自分から行動、発言
- ・ あいさつをしっかりする

中学部

「地域・学園のコミュニケーションを取る」

- 「時間を意識して、切り替えをする」
- 「自分の意見を持ち、人の意見にも耳を傾ける」

そして、このような学園を目指すために、どのようなスローガンがいいか話し合う合同会議を行いました。その中で出された「何事にも全力で」「全校で協力する」「前に進む」「9学年全員で成長できるように歩んでいく」などの思いをまとめ、この合同スローガンを設定しました。

3. 小中合同生活テーマについて

規則正しい生活

小学部と中学部のそれぞれで課題となっていることを出し合う中で、小中で共通した課題は「語彙力・コミュニケーション」や「時間」、「相手のことを考える」などの意見が挙げられました。昨年度の生活テーマであった「時間」をさらに向上させたいという思いや、今後はメディアの使用時間だけでなく、1日の生活における時間の使い方を考えていく必要があるという結論に至り、「規則正しい生活」という合同生活テーマを設定しました。中学部では、テスト期間中の起床・就寝時間や朝食を食べたかどうか、メディアの利用時間に関する取り組みを行います。